

図書館報 ぷらっつ★篠崎

027号

篠崎図書館を使いたおす!(第8回)



ティーンズコーナーに行ってみませんか?

ティーンズコーナーとは?

10代の方向けに本を選び、集めたコーナーです。図書館の本はジャンルごと(小説、歴史、自然科学など)に分類され、書棚も分かれています。このコーナーではすべてのジャンルのティーンズ向けの本を一か所に集め、その中で分類しています。手に取りやすい入門書や、内容の分かりやすい専門書、ライトノベル、受験・進路案内などもあり、10代のご家族のいる方、大人の方にも役立てていただけます。



ポイント① パタパタペーパー



江戸川区立各図書館のティーンズ担当者が参加し、作成しているティーンズ向けの広報紙です。オススメ本や、図書館Q&Aなどのコラムが連載されています。学生のボランティアスタッフ(ユーススタッフ)も活躍中! ティーンズコーナーにて配布しています。(奇数月発行)

ポイント② 中学生手作りポップ



江戸川区の小中学校で実施している職場体験、チャレンジ・ザ・ドリーム。当館では、体験に参加した中学生の皆さんに図書館での業務の一環として、オススメ本の紹介ポップを作ってもらっています。力作が揃っています!

ポイント③ ティーンズ向けマップ



ティーンズのための館内案内図です。ティーンズコーナー以外の一般書の棚から、ティーンズに親しみのあるジャンルの書棚をピックアップしてご紹介しています。ティーンズコーナーにて配布していますので、ぜひご活用ください。



帰ってきた 篠崎図書館長 インタビュー



——— 昨年以来のインタビューです。まず2012年を総括して、どんな1年でしたか?

岩 佐館長(以下岩) 目標を『情報の一方通行から相互通行への仕組み作り』として運営してきました。それを全員が受止め、展示の方法等で様々な変革を行った1年でした。その様な日頃の活動が評価され、来年以降も引続き運営を任される事となった(※)大きな要因の1つだと思っています。

——— 今年最も印象に残った1冊は?

岩 乱読した今年の特徴は、81冊中31冊が女流作家で、その内原田マハさんが4冊入っています。年齢を加えるにつれてほろっとするストーリーに心が傾きがちなので、原田マハさんの『旅屋おかえり』を挙げたいと思います。

——— 2013年への意気込みをお願いします。

岩 2012年度目標であった情報の相互通行を更に進める事で、地域の方々に喜ばれる運営を進めてゆきたいと考えています。個人目標としては、時代に残されない様に電子書籍も読むようにしたいです。

※当館は指定管理者制度により(株)図書館流通センターが運営しております。

★年末年始のお知らせ

12月30日(日)から1月1日(火)まで休館となります。休館中の本・雑誌のご返却はブックポストをご利用下さい。

人物ブックマーク

人物ブックマークとは、著名人とその著作および関連本を紹介するコーナーです。

第二十一葉

がもううじさと
蒲生氏郷

2013年大河ドラマの主人公・新島八重の出身地、会津若松。あまり知られていませんが、その会津若松の基礎を作ったのが今回ご紹介する戦国武将・蒲生氏郷です。

蒲生氏郷は近江の日野の出身で、幼少時に織田信長の人質になります。しかし、信長にその才を認められ、信長の娘の冬姫を娶り、織田一門となります。武勇に優れ、各地を転戦し戦功をあげました。信長死後は、秀吉に仕え伊勢国松ヶ島を経て、会津に移封され黒川城(若松城の旧名)に入りました。「若松」の名は、氏郷が故郷近江国若松の森に因

んでつけたそうです。

氏郷は武勇ばかりでなく経営力も抜群で、旧領の商人の招聘、定期市の開設、楽市楽座の導入、手工業の奨励等により会津若松の基礎を作り、その発展に尽力しました。現在も会津漆器、絵ろうそく、赤ベコなど氏郷が産業として奨励したものが残っています。

氏郷は病によって40歳の若さでこの世を去ってしまいました。辞世の句は「限りあれば 吹かねど花は 散るものを 心短き 春の山風」。信長に認められたその大器。早世が惜しまれます。

蒲生氏郷関連資料

「蒲生氏郷のすべて」	高橋富雄編	新人物往来社	289カ	小岩所蔵
「蒲生氏郷物語」	横山高治著	創元社	289.1カ	中央所蔵
「小説蒲生氏郷」	童門冬二著	集英社	BFト	篠崎ほか所蔵

江戸川まいにんぐ 発掘 第27回 「地名の由来 ～篠崎～」

江戸川区内のイベントやスポットをスタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

私たちの暮らす『江戸川区篠崎』。この“しのざき”の名がどのように付いたのかご存知ですか？

図書館の本で調べると、「本来砂州上の土地でしかも“篠”竹の茂っていた土地である」(江戸川区史)、「篠崎の“サキ”は、先端や狭間を意味する言葉です」(地名のはなし)とありました。昔々の篠崎地域は、低湿地の続くなかにも江戸川河岸に小高い場所があって、そこに集落が生まれ、その周辺には竹や笹の群生があった事から付けられた名であるのかもしれませんが。一説には、歌人・柿本人

麻呂が、当時国府のあった国府台(現・千葉縣市川市)から対岸の篠竹の茂る地を見て、篠ヶ崎と名を入れた歌を詠んだとの説もあります(篠崎むかし昔)。

現在も私たちのすぐそばに流れる江戸川。当時の篠の生い茂る川辺とせせらぎを想い、川沿いを散策してみたいかがですか。



穏やかな江戸川の夕景
(水門付近)

参考資料

「江戸川区史 第1巻」	江戸川区区史編纂室編	K1-21-1
「地名のはなし」	江戸川区教育委員会社会教育課文化財係著	RK1-29キ
「篠崎むかし昔」	茨木清美著	K1-38

編集後記

サンタさんに貰って一番嬉しかったプレゼントは、小学生の時のトランスフォーマー合体セットです。(風雲ふわふわ丸) / 今号が出るころには、箱根駅伝のコースを試走しているかも！(ちなみに前号の結果は……引き分け☆)(ジーク・信玄) / 来年は、食わず嫌いをなくし、様々なジャンルの本を読んでいこうと思います。(愛燦燦) / お正月はお雑煮があれば幸せです。たくさん作って食べつなぐのでまさにおせち代わり。(まろにえ船長)

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館
住所：〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19
篠崎文化プラザ内

TEL:03-3670-9102

[しのざき文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>